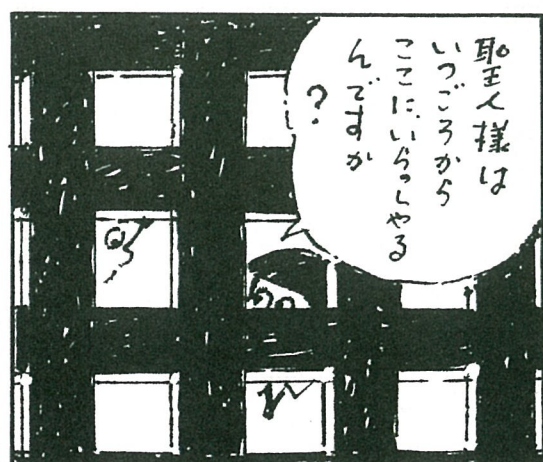
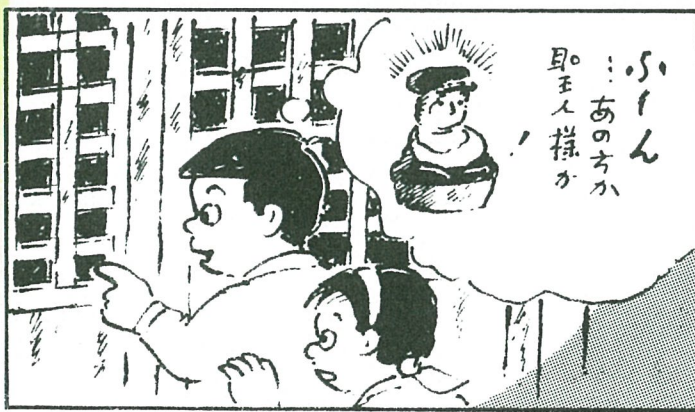


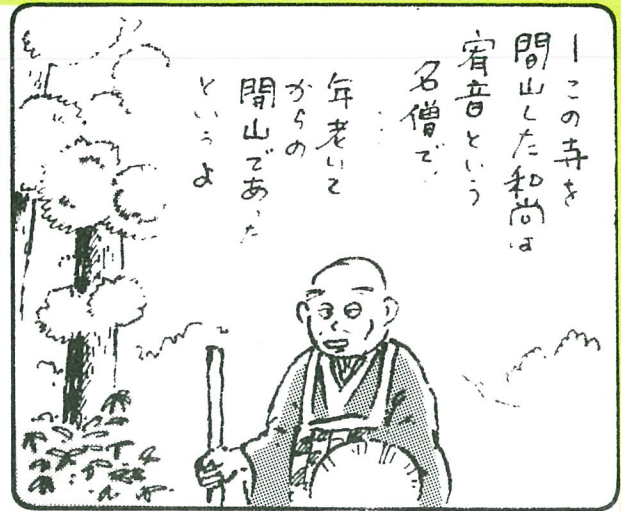
宥音堂 聖人様

ゆうおん じょう
しょう にん さま

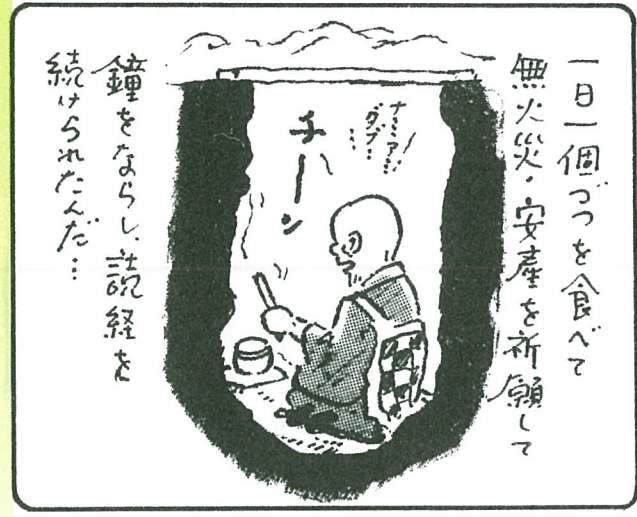




宥音聖人は天正五年
(一五七七)八月十日に
この山の山場に
ご自分で「穴塚」を
掘り……



「この寺を
開山した和尚は
宥音」という
名僧で、
年老いて
からの
開山であつた
といふよ



一日一個づつを食べて
無火災・安産を祈願して
鐘をならし、三祝経を
続けられたんだ……



「食料として
干柿一連をもつて
穴塚の中に入られたんだ」
ナミアミ
タフ
ナミアミ
タフ
タフ



この山小屋の聖人様は
安産の守護神として
現在も多くの信者が
参拝に訪れてくるよ

あ……
あの時には
ここに
来よつと



鐘の音が止まるまで
じつに百日におよび
仏様になったといふことだ



地元の人々は
この場所を
聖人塚と称し
のちに信者の
浄財を集めて
ここに堂を建て
宥音堂と
名付けたといふよ